

# 主要システムに係る経費の調査結果について (概要)

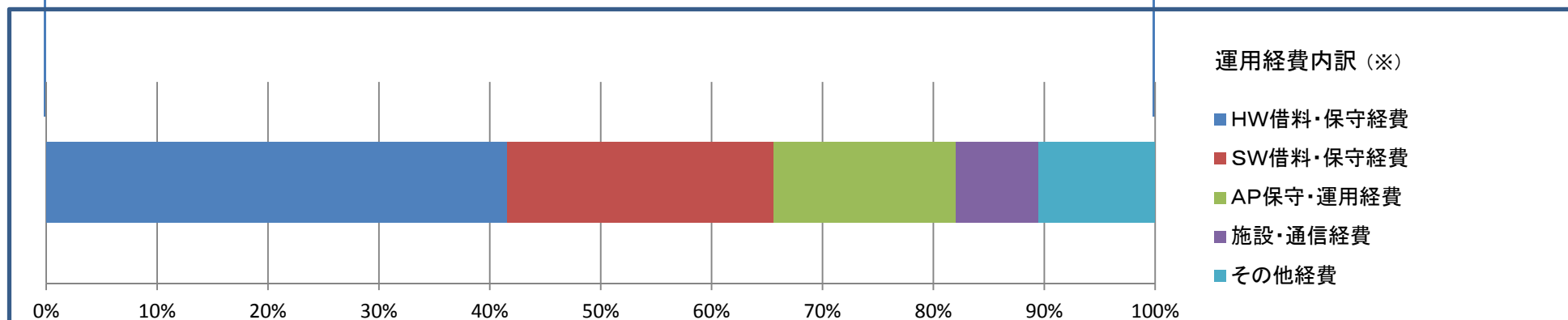
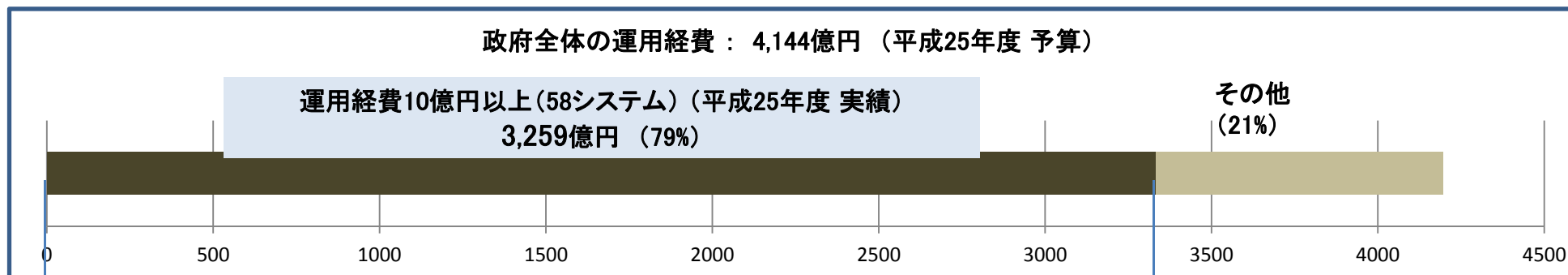


内閣官房 情報通信技術(IT)総合戦略室

平成26年1月23日

## 主要システムの運用経費内訳

政府の主要システム(年間運用経費10億円以上:58システム)の運用経費内訳は以下のとおり。



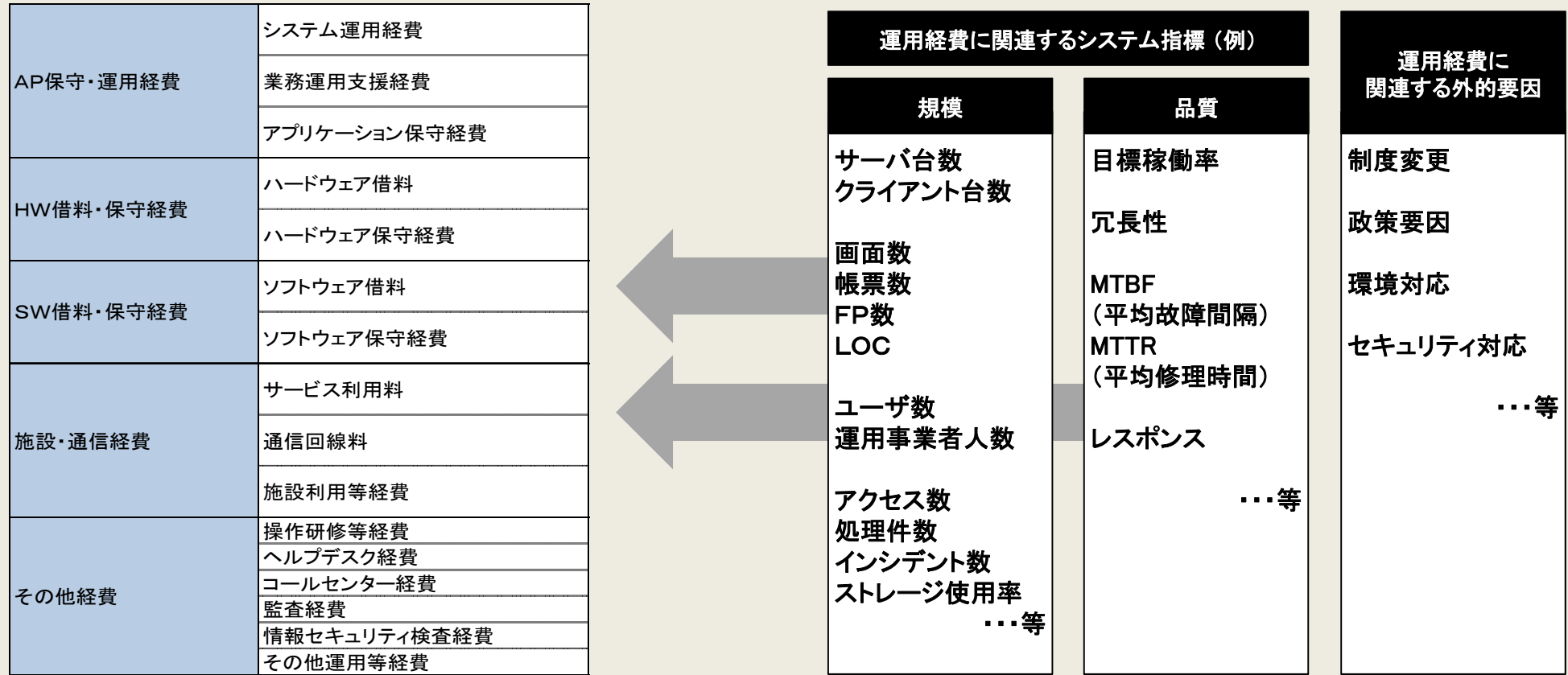
	HW借料・保守経費	SW借料・保守経費	AP保守・運用経費	施設・通信経費	その他経費
金額計(百万円)	96,242	55,568	38,085	17,289	24,339
比率	41.6%	24.0%	16.4%	7.5%	10.5%

なお、主要58システムの整備経費総額は744億円であり、整備経費と運用経費の比率は約1:4である。

(※) 運用経費の内訳が不明な一部システムを外して集計している

## 運用経費の項目別精査

運用経費に大きく影響する要因として、システムの規模、品質、外的要因が考えられる。



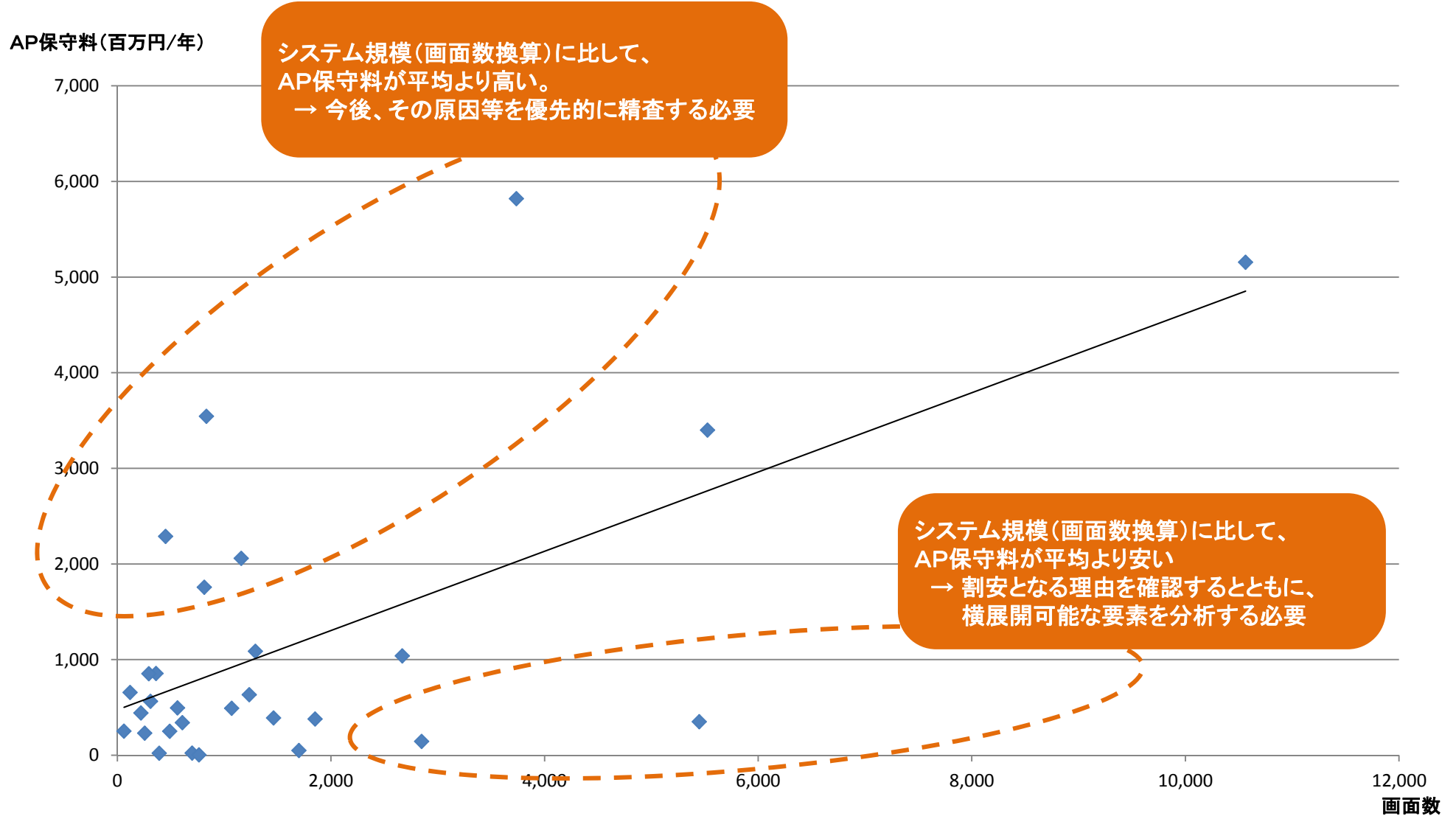
- コスト適正化のためには、各指標（規模、品質）と経費の関係や外的要因の有無等を可視化した上で、マネジメント活動を継続的に実施する必要がある。
- また、政府横断的な視点で分析することで、全体傾向や個々のシステムの特徴を把握することも可能。（※）

（※）全体傾向から外れることを一概に問題視するのではなく、外れている原因や背景を把握した上で見直しの可否を判断。

ex1

# 画面数 → AP保守・運用経費の回帰分析

画面数に対するAP保守・運用経費の関係を分析し、システム間での傾向差異を把握する。

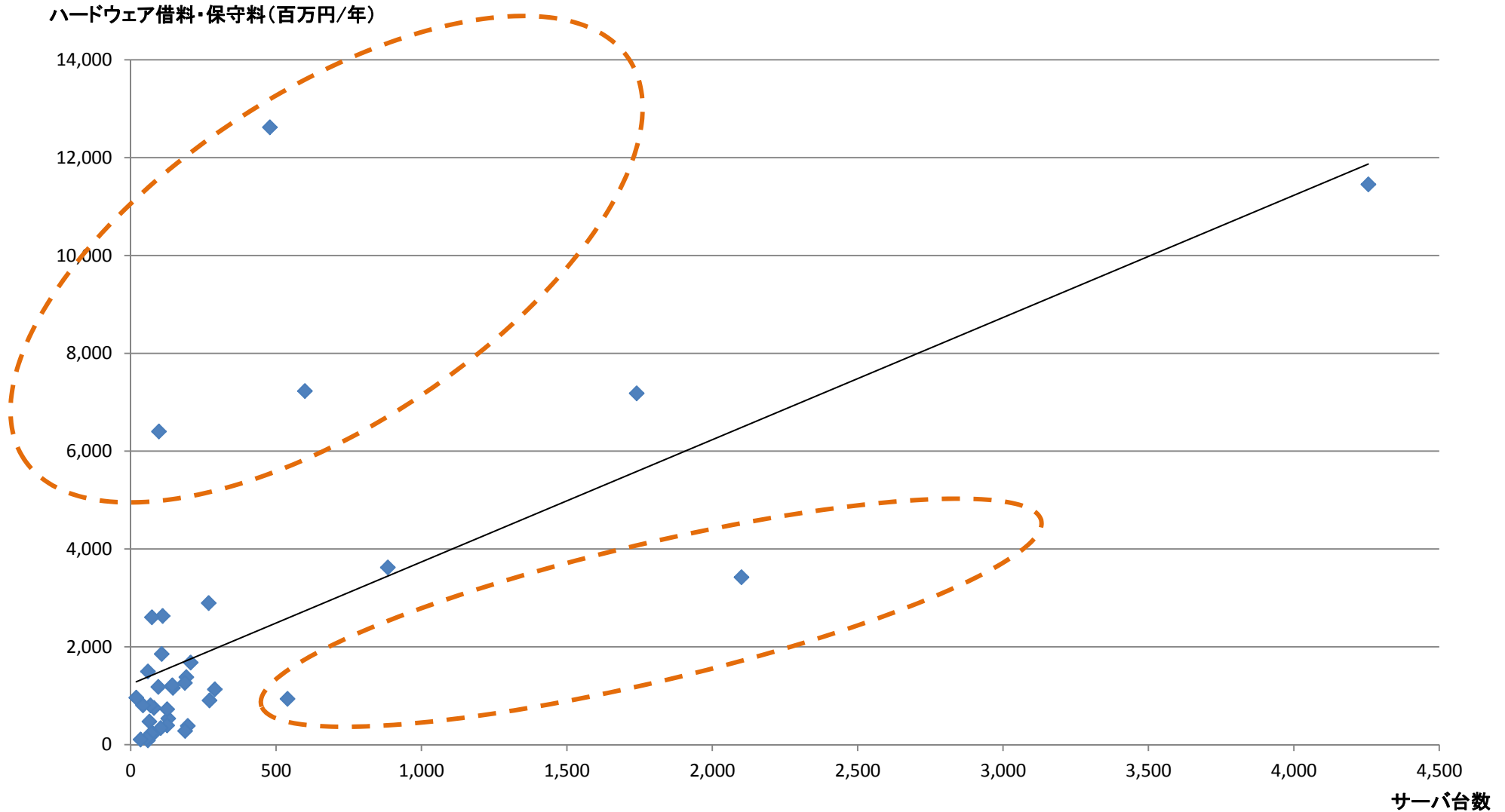


(※) 運用経費の内訳が不明な一部システムを外して集計している

# ex2

## サーバ台数 → ハードウェア借料・保守経費の回帰分析

サーバ台数に対するハードウェア借料・保守経費の関係を分析し、システム間での傾向差異を把握する。



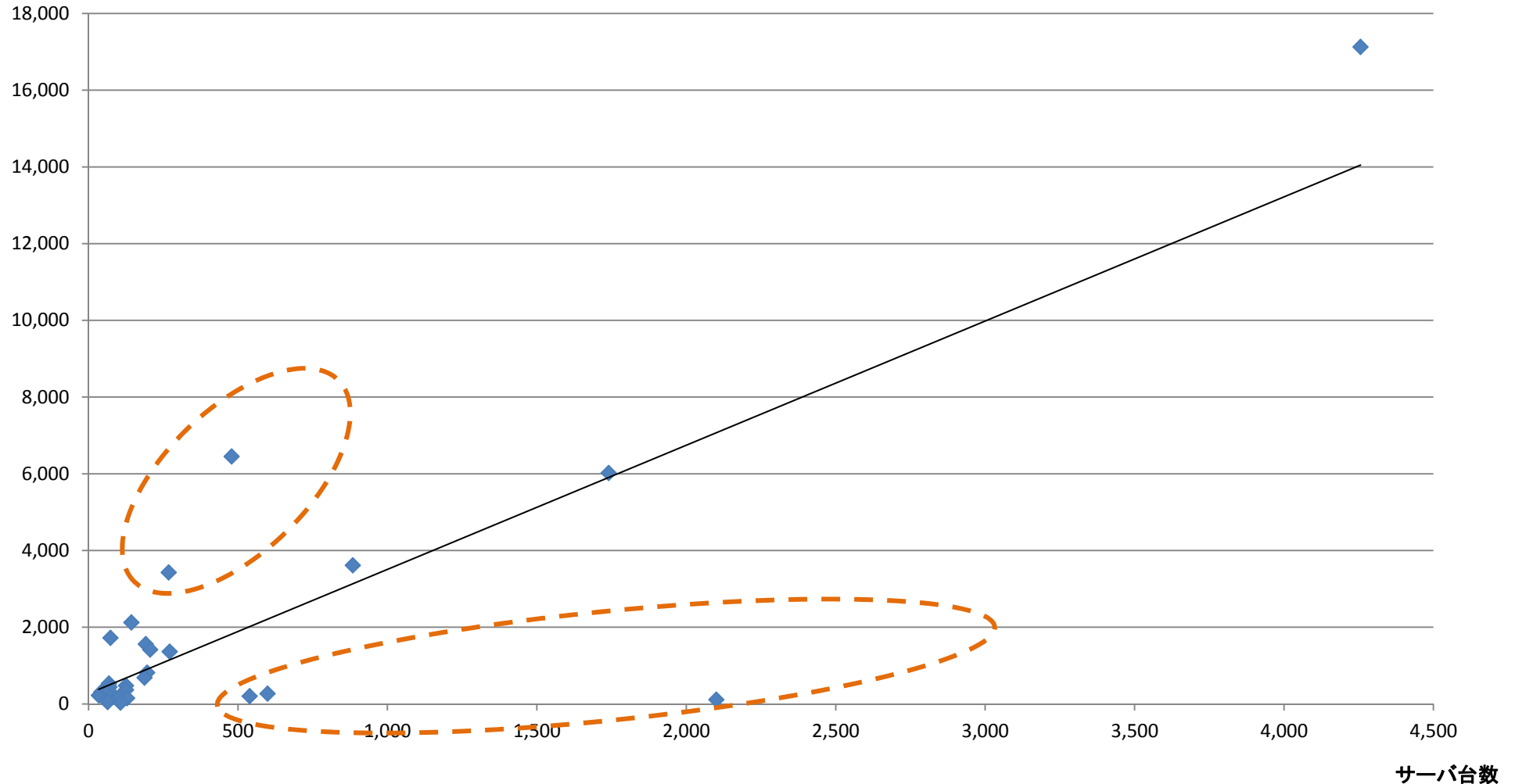
(※) 運用経費の内訳が不明な一部システムを外して集計している。また、)メインフレームについては重回帰分析結果を踏まえ、サーバ約70台分に換算している。

ex3

### サーバ台数 → ソフトウェア借料・保守経費の回帰分析

サーバ台数に対するソフトウェア借料・保守経費の関係を分析し、システム間での傾向差異を把握する。

ソフトウェア借料・保守料(百万円/年)



(※) 運用経費の内訳が不明な一部システムを外して集計している。また、)メインフレームについては重回帰分析結果を踏まえ、サーバ約70台分に換算している。